

現場の失敗と
その反省
IX-12

下水管布設時の埋設物について

工事名（下水）汚水準幹線（1工区）築造工事

工事概要 工事延長 2,063m マンホール設置工 133箇所

汚水ます設置工 244箇所 付帯工 1式

φ150ダクタイル管 63.1m φ100ダクタイル管 425.1m

φ40HIビニル管 134.0m他

この現場は昔からの港町で古い水道・山水・井戸水と、配管が多く発注者も不明な箇所が多すぎて把握しきれない地域である。そこに下水道を布設する工事で図面上では水道管は布設されているが下水道の本管には支障が無い為、仮設水道を施工せず、通常通り布設が可能な場所になっている。しかし、掘削してみると写真-1、2のように水道管が管路を邪魔するように布設されており、掘削時にバックホウのバケットに接触し破裂した。

管芯が水道側によっている為、マンホールが設置できない

対処方法：発注者に連絡を行い、復旧を行った。

- ・水道管は、写真-3のように迅速に復旧を行った。
- ・ヒューム管については現在使用をしていなく、下水の管路に影響する為、復旧をせず下水管を埋設した。
- ・下水管も発注者と協議を行い、管芯をずらし布設が出来た。

今回の失敗は掘削時に埋設物が確認できていたのでその周辺は機械掘削を中止し、人力掘削にて慎重に行えば水道管を破裂させることがなかった。また、その時間帯は地域の人の洗濯を行う時間帯であったので大変な迷惑をかけた。

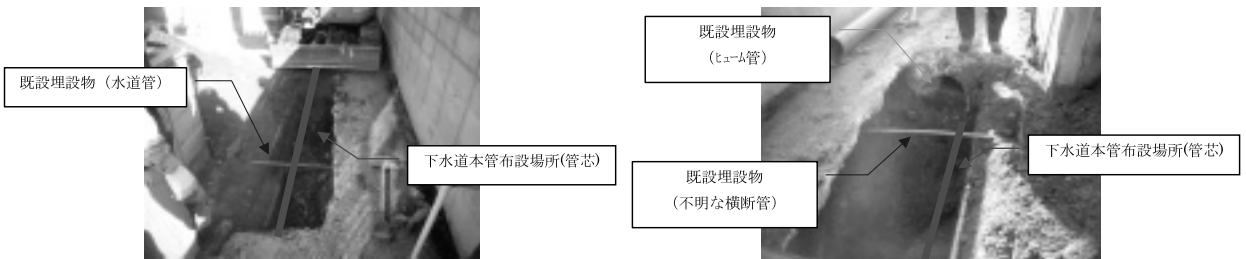


写真-1

写真-2

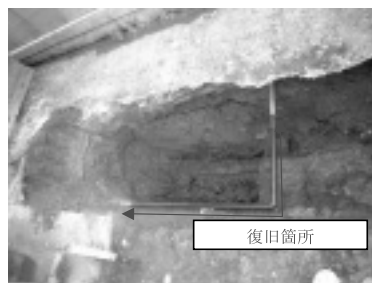


写真-3